

## 「ことばの力」トライアル 第3号

### 花いっぱい運動

6月6日(火)、2年生海洋科学科 21 名が花いっぱい運動に参加しました。栗田幼稚園・栗田小学校・栗田中学校・海洋高校の計 78 人が協力して 200 基のプランターに、峰山高校弥栄分校の生徒が種から育てたマリーゴールドの苗 600 本を植えていきました。地域を花で彩る活動を通し、幅広い年齢層が交流できるようにと 2007 年から取り組んでいます。本校生徒たちは児童・生徒との交流を通じ、協同作業の楽しさを実感することができました。

#### 大西 海斗 (宮津中学校出身)

私は今日の花いっぱい運動でさまざまなことを経験したり、学んだりしました。最初幼稚園児等とどのように接すればよいのかわからず、高校生である自分が緊張してしまいました。そのため、うまく幼稚園児等に指示することができませんでしたが、接する人と同じ目線を見て、同じ考え方をすることで次第に会話でき、幼稚園児等も指示を聞いて的確に行動してくれました。また幼稚園児等の方から質問したり話しかけたりしてくれて、緊張もほぐれました。

作業している中、人に教えるような仕事、例えば保育士の方や各学校の先生方の責任の重さや、年齢の違う人と接する難しさ等を実感することができ、またもっとボランティア活動に参加していきたいと思いました。人に詳しく物事を教えるにはどのように接するべきか、年齢の違う方の気持ちをどう理解するかがこれからの課題だと思います。これからの進路を決定するよい材料になりました。

#### 坊中 優太(洛風中学校出身)

今回の花いっぱい運動を通して、普段は行えない幼稚園児、小、中学生との交流をすることができました。

幼稚園児との交流は初めてで、何を話したらよいのかあまり分かりませんでした。しかし、幼児たちの方が緊張しており高校生が戸惑ってはいけないと思い積極的にコミュニケーションをとるように心掛けました。話しかけると、しっかり受け答えをしてくれて、思ったよりスムーズに作業が進みました。このことから、やはり自ら行動に移していくことにより、互いに打ち解けるようになるものだと、改めて認識しました。

一緒に作業をしていく中で、幼児たちにゆっくりと話すことが重要であることにも気が付きました。次はこの点を意識してよりよい取組になるように努力したいです。

#### 藪下 梨奈(栗田中学校出身)

私は、幼稚園の頃から関わる機会があり海洋高校生として今回の取組は4回目でした。今までとは違い、自分たちが上の立場となり園児や小学生のサポートをして楽しく作業を行うことができました。幼小中高が一貫となって交流ができることはこの栗田だからこそ行えることですし、これをきっかけに1つのつながりを持たないように思います。また、年2回あるこの取組が幼小中高連携の事業の伝統として残り、今現在も続いていることは凄いことですし、これからも続けてほしいと思いました。

花いっぱい運動によって地域全体が明るくなり、みんなの笑顔が増え、より活気づいていくととても嬉しいです。今日植えた花はこれから大きく開いて、通学路が華やかになっていくことがとても楽しみです。秋にもう一度ある花いっぱい運動も、より園児や小学生を楽しませ、絆を深めていけるようにしたいと思います。

